

9 生き方を求めて

対象学年：2年生

1. 題材：生き方

内容 (3) 学業と進路

- ア 学ぶことと働くことの意義の理解
- エ 望ましい勤労観・職業観の形成

2. 題材について

(1) 生徒の実態

職場体験を通じ、生徒たちは職業や社会人に触れ、働くことの楽しさや厳しさを実感することができた。しかし、将来、どのような職業に就き、どのような職業生活を送るかなど、自分の人生について考えている生徒は多くはない。また、進路選択に向けて意欲的に具体的な取組をする生徒はいるが少数であり、焦燥感ばかりでどのように取り組んだらよいのかわからない生徒もみられる。

(2) 題材設定の理由

「進路指導」は「生き方指導」といわれている。中学校卒業後の進路選択が、単に進学先選択にとどまることなく、将来の生き方を見据えた上で選択することが望ましいと考えられる。学ぶことと働くことを通して、人間としての生き方について生徒一人ひとりが自己の問題として真剣に受け止めることは大切である。様々な意見を聞き、話し合うことから、自己の個性や学習の成果を生かす進路を自らの意思と責任で考え、選択していけるようになってほしいと考え、この題材を設定した。

3. 指導のねらい

人は何のために働くのか、なぜ働かなければならないのかを考えることで、望ましい勤労観を育み、働くこととどのように向き合って生きていくかという姿勢や心構えをもてるようにする。

職業の果たす意義や役割を認識することで望ましい職業観を育み、生きがいのある人生を築こうとする意欲と態度を養う。

4. 学級活動(3)の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

5. 指導の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

○事前指導のテーマ：「働く人から学ぼう～身近な社会人の話を通じて～」

夏季休業中に職場体験を実施し、「人はなぜ働くのか」という内容で、生徒が実際に職場体験先や保護者の方、地域の方から話を聞き、ワークシートにまとめ、身近な社会人が何を大切にしている職業生活を送っているかを知ること、自らの勤労観・職業観を形成するきっかけとする。

そのワークシートを基に、事前の学習として次のようにワークショップ形式で情報交換を行い、理解を深める。

活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
1 「人はなぜ働くのか」について【ワークシート2】を基に付せんに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚の付せんに、1つの理由を簡潔に記入するようさせる。 ・職場体験先や保護者・地域の方から聞いた内容は青い付せんに、自分の考えは黄色の付せんに分けて書かせる。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップに積極的に参加し、自主的・自律的に学習に取り組もうとしている。 <p>〔観察〕自主的に付せんに記入しようとしている。</p>
2 班の中で、簡潔な説明を加えながら、それぞれの付せんを模造紙に貼る。自分の番の時に、手持ちの付せんは全て貼る。	<ul style="list-style-type: none"> ・他の班員で同様の付せん（理由）があった場合には、簡潔な説明を加え、同じタイミングで付せんを貼るよう指導する。 	<p>〔観察〕自ら説明するとともに、仲間の発言を聞こうとしている。</p>
3 全員が付せんを貼り終わったら、模造紙全体をみて、特徴をとらえ、類似の付せんをまとめ、見出しを付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙を見ると、班の様相がわかるように見出しをつけ、まとめさせる。さらに、見出し同士の関係性を考えて線で結び、分析を深めるよう助言する。 	<p>〔観察〕話し合いに積極的に参加しようとしている。</p>
4 模造紙を掲示し、各班のまとめを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・一班2分程度で発表する。各班の発表内容の特徴をとらえ、生徒に強調して示す。 	

(2) 本時の指導と生徒の活動

① 本時の活動テーマ 「働く意義を知り、自らの生き方に思いを巡らす」

② 本時のねらい

○「職業の三要素」を理解し、将来の職業選択に向けて何に重きを置くかを考える。

○どの側面を重要視するかがこれからの人生の歩み方につながることを理解し、自らの勤労観・職業観を形成する。

③ 本時の展開

※支援：「努力を要する子」への支援

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始	1 本時の活動の流れについて説明を聞き、テーマを知る。 【ワークシート1】 「 生き方を求めて 」の冒頭部分を確認する。	・本時のテーマを明確にするとともに、授業の見直しをもたせ、自主的に授業に取り組むことができよう指導する。	
15分	2 職場体験で「人はなぜ働くのか」について、身近な社会人に聞いてきたことを確認し、 【ワークシート1】 「 将来、どのような職業に就きたいと思いますか 」を記入する。	・今までの取り組みから回答するよう、あまり時間をかけずに記入させる。 ・机間巡視し、補助発問をし、口頭で回答させ、その後記入させる。	
	3 班の中で発表し、それぞれが選んだ理由を話し合い、気付いたことを 【ワークシート1】 「 話し合ってみよう 」に記入する。	・それぞれの意見の根拠に気付かせ、それが他者理解に通じる事を認識させる。 ・自分事としてとらえることができるよう指導し、発表・話し合いに参加できるよう支援する。	【関心・意欲・態度】 ・働くことに関心を持ち、他者の意見を聞きながらメモをとるなど、授業に積極的に参加しようとしている。 【ワークシート】 【観察】
	4 班の中で話し合い、一番多く選ばれた優先する内容と、その理由を 【ワークシート1】 「 発表してみよう 」に記入する。		
	5 各班でまとめた意見を、発表者を決めて発表する。	・周囲の意見を聞き、別の角度からあらためて自分の考えを見直し、自己理解につなげるようにする。 ・各班の理由を発表することで、より理解を深めさせる。	

活動の展開 20分	6 各班の発表を聞き、自分の考えを再考し、【ワークシート1】 「振り返ってみよう」の項目を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の考えと変わった理由、変わらない理由を合わせて記入させる。 ・発表を聞いた感想を聞くとともに、自らの考えの振り返りを支援する。 	【思考・判断・実践】 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を踏まえ、また、他者の意見を聞いた上で自らの職業観・勤労観を考察するとともに、これからの展望を思い描いている。 【ワークシート】
活動のまとめ 15分	7 【ワークシート1】 「人はなぜ働くのか？」を読み、「職業の三要素」を理解する。 8 【ワークシート1】 「よりよく生きるために」を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「職業の三要素」を見せ、どこに重きを置くかは個々によって異なり、仕事を続けるうちに三つのバランスは変化が生じることを理解させる。 ・職業選択のために、将来へ向けて何が大切かを考え、今後の学校生活で何をすべきかをまとめさせる。 ・職業選択のために、今後の学校生活の中で大切なことは何かをまとめさせる。 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・職業の三要素について知り、三つのバランスが生き方につながることを理解している。 【ワークシート】 【思考・判断・実践】 <ul style="list-style-type: none"> ・働く意義について考えるとともに、これから自分が何をすべきか考えている。 【ワークシート】

6. 本題材の工夫例

本題材では職場体験を通して学んだことや身近な社会人の話を聞くことで、職業をより自分事としてとらえられるようにした。また、ワークショップ形式で行うことで、自分の言葉で話したり、他の人の意見を聞いたりしながら問題解決を図れるようにした。ワークショップではさまざまな意見が出たが、それぞれに見出しを付けるとともに、見出し同士の関係性を考えることで、職業の重要性をより深く考え、そのために今後の生活で必要なことを挙げられるようにした。

また、ワークシートには「発表してみよう」に「一番多く選ばれた優先する内容」を挙げるようにあるが、「一番多く選ばれた」ということではなく、班の中で話し合わせることで優先する内容を挙げることも考えられる。

7. 事前と本時に使用したワークシート

- ・ **【ワークシート1】** 「わたくしたちの生活と進路（平成26年度版）」
 < 9. 生き方を求めて > ワード版活用
- ・ **【ワークシート2】** 「人はなぜ働くのか」 ※オリジナル作成

9 生き方を求めて

私たちはこれまで、身近な人々に職業インタビューをしたり、その道のプロの方から仕事について教えていただいたりする中で、その仕事の意義や、やりがい、苦勞、そして、その職に就くまでにたどる道のりを学びました。仕事の中には、今、しっかり勉強して、大学に行かなければ、その職業に就けないものや、高校を出てから専門学校で学ぶ方法があるもの、技術を直接教わらないとできないものなど、具体的なことも学習しました。

ここでは、今までの学習から得たことを生かし、自分らしい生き方を見つけるために「働くことの意義」や「今の自分に必要なもの」「これからの学校生活に生かせること」を考えてみましょう。

働くことってどんなこと

近い将来みなさんは社会に出て働きますが、学校で過ごした時間より、はるかに長い年月を社会人として過ごします。よりよい人生を送るためには、しっかりした夢や目標をもって職業に就くことが大切です。今から少しずつ目標を考えていきましょう。



将来、どのような職業に就きたいと思いますか。

テニスのコーチ・テーマパーク

◎あなたは、職業を選ぶとき、何を優先しますか。上位3つをあげてみてください。また、その理由を書いてみましょう。

①やりがい ②給料 ③楽しさ ④特性、能力（専門性） ⑤働く時間 ⑥安定

⑦職場の雰囲気 ⑧その他（ ）

☆1位 C ☆2位 B ☆3位 G

「理由」→

暗い職場より楽しいのがいいし、給料も高いから



話し合ってみよう

あなたの選んだ「理由」を班の人と話し合い、気付いたことをメモしましょう。

〇楽しさとやりがいを得る

〇仕事が好きと頑張れる

発表してみよう

あなたの班の中で、一番多く選ばれた優先する内容と理由をまとめ発表してみましょう。また、発表を聞いて気付いたことをメモしましょう。

〔一番多く選ばれた優先する内容〕

楽しんで
〔理由〕

楽しさがあるとやりがいがあり、頑張れる。また頑張った分だけ給料がもらえるから

振り返ってみよう

友達の意見を聞いてみて、あなたの優先する内容は変わりましたか。変わりませんでしたか。変わったか、変わらなかったか、その理由も書いてみましょう。

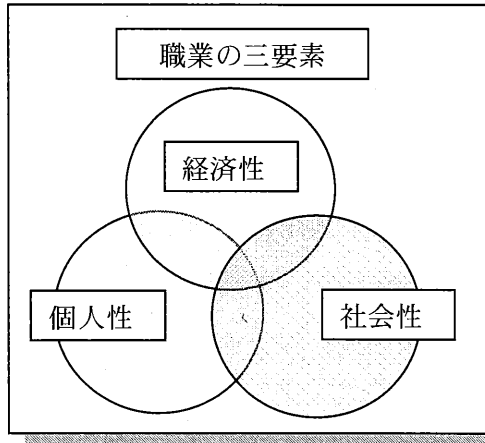


「変わらなかった」

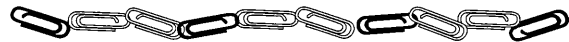
現実的に考えるとお金が一番大切ですが、楽しくお金がもらえるのが理想です。楽しさがあると頑張り長けて、その分 お金ももらえるから、楽しさが一番だと思います。

『人はなぜ働くのか？』

長い人生の中では、社会人として働く時期が大部分を占めます。「働く喜びを知る」ということが、「意欲をもって生きていく」ことにつながります。衣食住を満たすための経済性を求めるだけでは、心身ともに充実した生活を送ることはできません。職業の三要素として「経済性」「個人性」「社会性」があげられます。「経済性」とは、「働き収入を得ることで、生活を支えること」です。「個人性」とは、「目標や生きがいをもちながら、実りあるものにすること」であり、「社会性」とは、「勤労によって社会に貢献すること」です。これらのことを踏まえて、「働く意義」について考えてみましょう。



「経済性」「個人性」「社会性」の3つの側面のどれに重きを置くかは、個々に異なります。また、仕事を続けるうちに、3つの側面のバランスにも変化が生じてきます。職業を選ぶにあたり、どの側面を重要視するかは、今のあなたが将来を見すえながら判断することです。



よりよく生きるために

「今の自分に必要なこと」、「これからの学校生活で大切なこと」は何かなど、将来に向けての目標や生きがいをもつことが大切です。これからの自分に必要なことや将来に向けて大切なことは何なのかを考え、書いてみましょう。



強いメンタル

積極性

説明力

夢をもって働くために

職業に就けば、その中で様々な困難や苦勞もあることでしょう。しかし、自分の個性や能力を発揮し、生きがいを得ることもできます。私たちの先輩たちは、「職業人」として希望や意欲をもって「自分の力を伸ばしたい」「夢を実現したい」と努力を重ねています。また、その職業を選んだことに誇りを持ち、将来の自分の姿を見すえ、困難に負けずに自分の人生を切り開いていこうとしています。

9 生き方を求めて

私たちはこれまで、身近な人々に職業インタビューをしたり、その道のプロの方から仕事について教えていただいたりする中で、その仕事の意義や、やりがい、苦勞、そして、その職に就くまでにたどる道のりを学びました。仕事の中には、今、しっかり勉強して、大学に行かなければ、その職業に就けないものや、高校を出てから専門学校で学ぶ方法があるもの、技術を直接教わらないとできないものなど、具体的なことも学習しました。

ここでは、今までの学習から得たことを生かし、自分らしい生き方を見つけるために「働くことの意義」や「今の自分に必要なもの」「これからの学校生活に生かせること」を考えてみましょう。

働くことってどんなこと

近い将来みなさんは社会に出て働きますが、学校で過ごした時間より、はるかに長い年月を社会人として過ごします。よりよい人生を送るためには、しっかりした夢や目標をもって職業に就くことが大切です。今から少しずつ目標を考えていきましょう。



将来、どのような職業に就きたいと思いますか。

◎あなたは、職業を選ぶとき、何を優先しますか。上位3つをあげてみてください。また、その理由を書いてみましょう。

Ⓐやりがい Ⓑ給料 Ⓒ楽しさ Ⓓ特性、能力（専門性） Ⓔ働く時間 Ⓕ安定

Ⓖ職場の雰囲気 Ⓖその他（ ）

☆1位

☆2位

☆3位

「理由」→



話し合ってみよう

あなたの選んだ「理由」を班の人と話し合い、気付いたことをメモしましょう。

発表してみよう

あなたの班の中で、一番多く選ばれた優先する内容と理由をまとめ発表してみましょう。また、発表を聞いて気付いたことをメモしましょう。



[一番多く選ばれた優先する内容]

[理由]

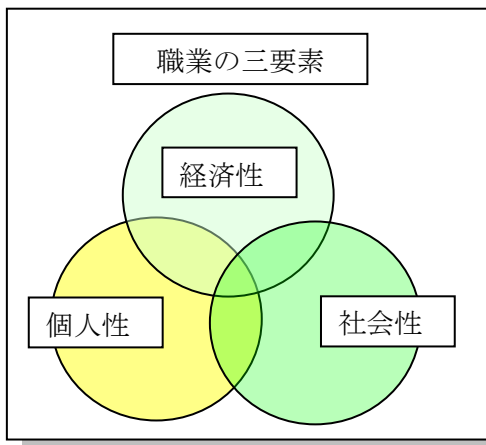
振り返ってみよう

友達の意見を聞いてみて、あなたの優先する内容は変わりましたか。変わったか、変わらなかったか、その理由を書いてみましょう。



『人はなぜ働くのか？』

長い人生の中では、社会人として働く時期が大部分を占めます。「働く喜びを知る」ということが、「意欲をもって生きていく」ことにつながります。衣食住を満たすための経済性を求めるだけでは、心身ともに充実した生活を送ることはできません。職業の三要素として「経済性」「個人性」「社会性」があげられます。「経済性」とは、「働き収入を得ることで、生活を支えること」です。「個人性」とは、「目標や生きがいをもちながら、実りあるものにする事」であり、「社会性」とは、「勤労によって社会に貢献すること」です。これらのことを踏まえて、「働く意義」について考えてみましょう。



「経済性」「個人性」「社会性」の3つの側面のどれに重きを置くかは、個々に異なります。また、仕事を続けるうちに、3つの側面のバランスにも変化が生じてきます。職業を選ぶにあたり、どの側面を重要視するかは、今のあなたが将来を見すえながら判断することです。



よりよく生きるために

「今の自分に必要なこと」、「これからの学校生活で大切なこと」は何かなど、将来に向けての目標や生きがいをもつことが大切です。これからの自分に必要なことや将来に向けて大切なことは何なのかを考え、書いてみましょう。



夢をもって働くために

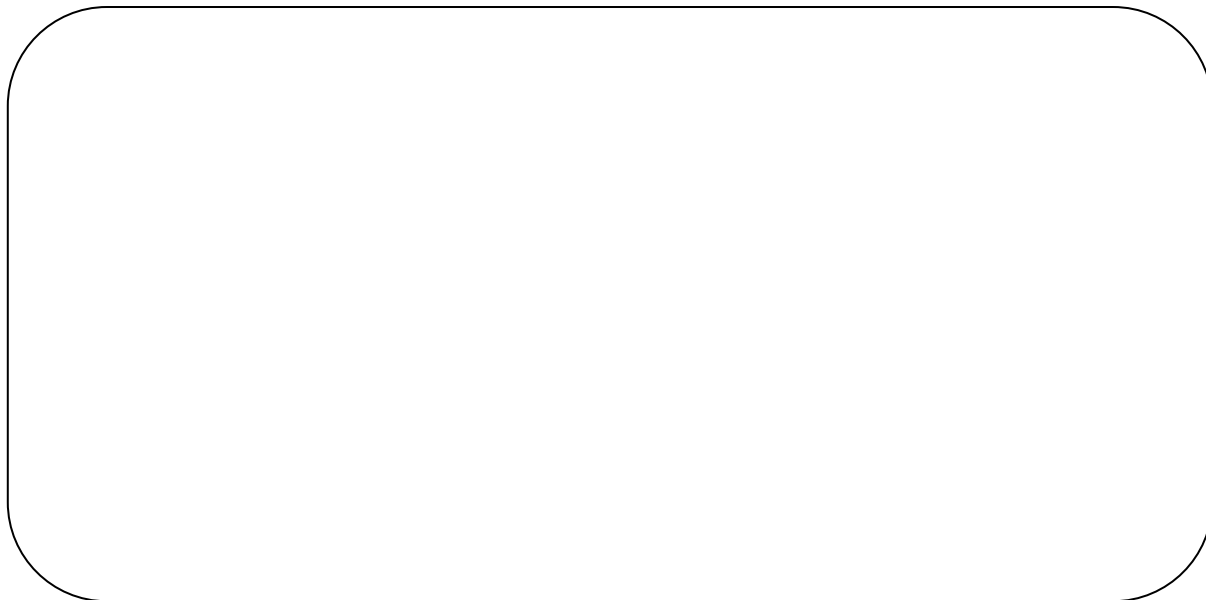
職業に就けば、その中で様々な困難や苦勞もあることでしょう。しかし、自分の個性や能力を発揮し、生きがいを得ることもできます。私たちの先輩たちは、「職業人」として希望や意欲をもって「自分の力を伸ばしたい」「夢を実現したい」と努力を重ねています。また、その職業を選んだことに誇りを持ち、将来の自分の姿を見すえ、困難に負けずに自分の人生を切り開いていこうとしています。

【ワークシート2】

2年 組 番 氏名

人はなぜ働くのか

1. 職業体験先や保護者の方、地域の方から「人はなぜ働くのか」、話を聞いて働く意味をまとめて書きましょう。



2. 自分なりに考えた「人はなぜ働くのか」を書き出してみましょう。

